

■現行計画の体系

分野別の目標	基本的な方向
1 いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実	(1) 多様な講座や学習機会の提供・充実
	(2) 学習や活動ができる環境の提供
	(3) だれもが学習・活動しやすい仕組みづくり
	(4) さまざまな学習活動を支援する区立図書館づくり
2 一人ひとりの学習や活動を支えるための情報提供、相談体制の整備・充実	(1) 学習情報の収集・整理
	(2) 分かりやすい情報提供
	(3) 相談体制の整備・充実
	(4) 地域における情報拠点となる区立図書館づくり
3 区民・団体の主体的な活動の支援	(1) 主体的な活動を支える仕組みづくり
	(2) 活動成果披露の場の仕組みづくり
	(3) 人材育成の推進
	(4) 人材活用の推進

■新しい体系における課題認識(案)

分類	概要
学習(講座への参加)	より広い層の区民が講座に参加できるようにする
	子ども・若者・働き手・子育て世代・団塊の世代・外国人・障害者の学習の機会の提供
学んだことの活用	学ぶことと、学んだことを活かすことをスムーズに接続する
	支援者のすそ野を広げ、多様な知識・能力を持った人を活用する 生涯学習事業・地域活動への区民参画を進める
仲間づくり	学ぶ人たちからなるコミュニティを形成し、相互に学び合うことを促す(学ぶことを活かすための足掛かり)
	コミュニティ・サークル同士の交流を促し、コミュニティを広げ、開放的なネットワークをつくる
共通	生涯学習の場・情報提供の場としての図書館と連携する

○現行計画を引き継ぐ「学習(講座への参加)」と「学んだことの活用」に、「仲間づくり」について分類を加えました。
○現行計画の「3-(3)人材育成の推進」と「3-(4)人材活用の推進」は新しい体系(案)では「3-(4)人材活用の推進」という目標の下で一つにまとめています。
○情報発信に関する取組みは、「3. 学びを継続し、生きがいにつなげるための仲間づくり」にて基本的な方向性のレベルで配置しています。講座や情報提供は、事業レベルでも掲載します。

■新しい体系(案)

分野別の目標/基本的な方向	分科会での主なご意見	現行計画との対照
1 いつでも、どこでも、だれでも学習や活動ができる機会の提供・充実		
(1) 多様な講座や学習機会の提供・充実	○講座の拡大・質の向上に取り組んでほしい。	1-(1) 2-(1)・(2)
(2) 学習や活動ができる環境の提供	○学べる場所・活動できる場所が少ない。	1-(2)
(3) ライフスタイルに応じた学習機会の充実	○子育て中の講座参加者が少ない。仕事に追われて時間の余裕がない。 ○興味ある講座のタイミングが合わない。土日の講座が少ない	1-(3)
(4) 地域の学習拠点としての図書館づくり	○図書館で生涯学習の情報を集約・整理し、案内してもらえるとよい。	1-(4) 2-(4)
2. 一人ひとりの学びの成果を活かす機会の提供・充実		
(1) 主体的な活動を支える仕組みづくり	○講座受講後のフォローがあるとよい。 ○学んだことを活かすことへの接続について、アカデミー推進課と他の部署との連携によって、スムーズに行える仕組みづくりができるとよいのではないかと。	2-(2) 2-(3) 3-(1)
(2) 活動成果披露の場の充実	○学びをアウトプットできる所・機会が少ない。 ○大事なものはサークル同士が交流する場をより充実させることだと考えている。交流を広げる場があれば、区民自身が学び、コミュニティ	3-(2)
(3) 人材育成・活用の推進	○区内には豊富な人材が揃っている。人材活用の機会が少ない。 ○生涯学習司を広められるとよい。	3-(3) 3-(4)
3. 学びの継続を通じたコミュニティづくり		
(1) 学びを通じた交流・仲間づくりの推進	○学びを活かしたコミュニティづくり。 ○テーマ型コミュニティという考え方で、地域を超えてサークルをつないでいけるとよい。	3-(1)
(2) 地域で支える学習環境の充実	○「ふれあいサロン」など区民の活動を増やし、活用するための仕組みづくり。 ○アカデミー文京・地域アカデミーを活用できるとよい。	1-(2)
(3) 学び合いを支え、活動に展開するための情報提供・支援	○講座を受講する層が固定しがち。 ○学習・活動に使える情報がわかりにくい ○生涯学習は終わりがあがるものではないので、アウトプットと同時に学ぶことも重要なのではないかと	2-(3) 2-(4)